

設備更改プロジェクト（JP5版）  
ガイドライン  
【移行作業編】  
v1.0.2



2026年3月3日  
NTTドコモビジネス株式会社

# 更新履歴

つながう。驚きを。幸せを。



版数	更新日	更新内容
1.0.0	2025年10月23日	<ul style="list-style-type: none"><li>初版作成</li></ul>
1.0.1	2025年11月28日	<ul style="list-style-type: none"><li>本ガイドラインの位置づけ：内容を修正</li><li>移行スケジュール：内容を追加</li><li>サービスごとの移行方法について：内容を修正</li></ul>
1.0.2	2026年3月3日	<ul style="list-style-type: none"><li>資料分割</li><li>本ガイドラインご利用上の注意事項：内容を追加、修正</li><li>移行作業概要：内容を追加</li><li>サービスごとの移行方法について：内容を追加、修正</li></ul>

# 目次

- 本ガイドラインの位置づけ
- 本ガイドラインご利用上の注意事項
- 移行作業概要
- サービスごとの移行方法について
- パターン別移行ステップ
  - ツールを利用して移行するパターン
  - お客様による手動移行のパターン
  - ツールおよび手動移行併用のパターン

# 本ガイドラインの位置づけ

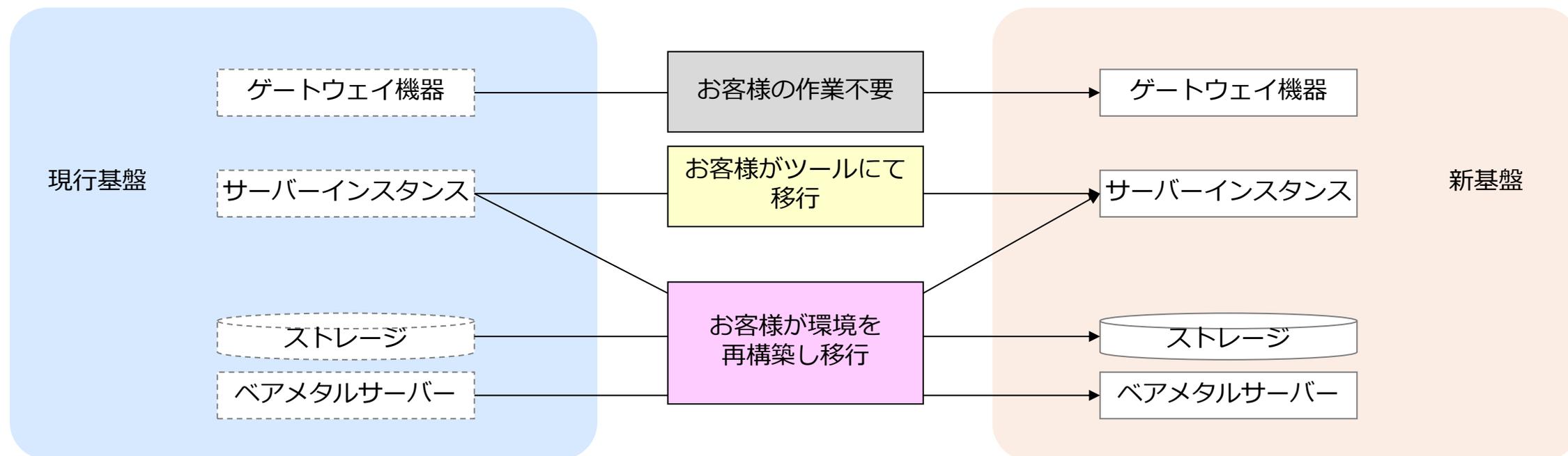
- 既存のSDPF クラウド/サーバー（旧Enterprise Cloud2.0）につきましては提供から10年以上が経過しております。その間、新しいテクノロジーの導入を進めており、2021年6月のJP7からは大容量化等を実現した新基盤にて提供しております。
- JP5につきましてもソフトウェアの更新などを進めておりましたが、各種構成機器およびソフトウェアのサポート期限の問題等から、新基盤へバージョンアップすることとなりました。ご利用中のお客様には安心して引き続きご利用いただくために、新基盤へのバージョンアップのご協力をお願いいたします。
- 本ガイドラインは、設備更改の作業概要について記載しております。

# 本ガイドラインご利用上の注意事項

- 本ガイドラインは、移行概要の記載を行っております。移行についての詳細は、各詳細手順をご参照ください。
- 各詳細手順は弊社標準環境にて検証済みですが、すべてのお客様環境での動作を保証するものではありません。構成の違い等に留意し、お客様の環境に適した手順への精査・調整をお願いいたします。
- 万が一の事態に備え、作業実施前にはデータおよび設定のバックアップの取得を推奨します。
- 不測の事態が発生した際は、弊社サポートチケットにてお問い合わせください。迅速な連携のため、事前に問い合わせ方法のご確認をお願いいたします。（詳細は設備更改概要編のお問い合わせ方法をご参照ください）
- システムの仕様上、メニューごとの作業順序に制約はございません。お客様の冗長化構成の方針やメンテナンス時間枠に基づき、計画を策定してください。

# 移行作業概要

- 移行作業については、以下の通りとなります。
- 次ページ以降に、メニューごとの移行方針を記載します。
  - \* お客様作業不要で弊社にて移行作業を実施するサービス  
(弊社作業については定期メンテナンスとして実施するため、別途申し込みは不要です)
  - \* お客様にツールを用いて移行作業をしていただく必要があるサービス
  - \* お客様に再構築していただく必要があるサービス (コロケーション接続については物理作業を伴います)



セル色の凡例：

お客様の作業不要

お客様がツールにて移行

お客様が環境を再構築し移行

# サービスごとの移行方法について

## ■仮想サーバー

### 構成パターン別の移行方針

各移行元のOSと移行先のOSの一覧は以下の通りとなります。

- ・ 移行元、移行先OSのメジャーバージョンが同じ、かつ新環境で提供されているOSの場合は、ツールにて移行。
- ・ 提供終了/サポート終了しているOSに関しては、アップデートが必須。移行先バージョンが異なるので、データ移行にて移行。

移行元バージョン	移行先バージョン	移行方針
Windows server 2012R2	Windows Server 2019 / 2022 / 2025	データ移行
Windows server 2016	Windows Server 2016 / 2019 / 2022 / 2025	リサイズ&リタイプ(2016)
		データ移行(2019/2022/2025)
Windows server 2019	Windows Server 2019 / 2022 /2025	リサイズ&リタイプ(2019)
		データ移行(2022/2025)
Windows server 2022	Windows Server 2022/2025	リサイズ&リタイプ(2022)
		データ移行(2025)
Red Hat Enterprise Linux 7 + ELS	Red Hat Enterprise Linux 7 + ELS/8/9	リサイズ&リタイプ(7 + ELS)
		データ移行(8/9)
Red Hat Enterprise Linux 8	Red Hat Enterprise Linux 8/9	リサイズ&リタイプ(8)
		データ移行(9)
Red Hat Enterprise Linux 9	Red Hat Enterprise Linux 9	リサイズ&リタイプ
無償OS (Ubuntu、Rocky Linux、CentOS)	無償OS (Ubuntu、Rocky Linux、CentOS) ※移行元と同一OSかつ同一バージョンであること	リサイズ&リタイプ

セル色の凡例： 

お客様の作業不要
----------

お客様がツールにて移行
-------------

お客様が環境を再構築し移行
---------------

# サービスごとの移行方法について

## ■ 仮想サーバー

### 構成パターン別の移行方針

SQL Serverを含むオフィシャルイメージテンプレートをご利用いただいている場合の各移行元のOSと移行先のOSの一覧は以下の通りです。

- 移行元、移行先OSのメジャーバージョンが同じ、かつ新環境で提供されているOSの場合は、ツールにて移行。
- 提供終了/サポート終了しているOSに関しては、アップデートが必須。移行先バージョンが異なるので、データ移行にて移行。

移行元バージョン	移行先バージョン	移行方針
Windows server 2012R2 +SQL Server 2014	Windows Server 2019 / 2022 +SQL Server 2019 / 2022	データ移行
Windows server 2016 +SQL Server 2016 / 2017	Windows server 2016 +SQL Server 2016 / 2017	リサイズ&リタイプ
	Windows Server 2019 / 2022 +SQL Server 2019 / 2022	データ移行
Windows server 2019 +SQL Server 2019	Windows Server 2019 / 2022 +SQL Server 2019 / 2022	リサイズ&リタイプ(2019)
		データ移行(2022)
Windows server 2022 +SQL Server 2022	Windows Server 2022 +SQL Server 2022	リサイズ&リタイプ

# サービスごとの移行方法について

つながり。驚きを。幸せを。

 NTT Docomo Business

セル色の凡例：

お客様の作業不要

お客様がツールにて移行

お客様が環境を再構築し移行

## ■仮想サーバー

### 構成パターン別の移行方針

OracleDBを含むオフィシャルイメージテンプレートをご利用いただている場合の各移行元のOSと移行先のOSの一覧は以下の通りです。

- 移行元、移行先OSのメジャーバージョンが同じ、かつ新環境で提供されているOSの場合は、ツールにて移行。
- 提供終了/サポート終了しているOSに関しては、アップデートが必須。移行先バージョンが異なるので、データ移行にて移行。

移行元バージョン	移行先バージョン	移行方針
Windows server 2012R2 +OracleDB-12.1 EE / SE2	Windows Server 2016 / 2019 / 2022 +OracleDB-19.3 EE / SE2	データ移行
Windows server 2016 +OracleDB-12.2 SE2	Windows server 2016 +OracleDB-12.2 SE2	リサイズ&リタイプ
	Windows Server 2016 / 2019 / 2022 +OracleDB-19.3 EE / SE2	データ移行
Windows server 2016 +OracleDB-19.3 EE / SE2	Windows Server 2016 / 2019 / 2022 +OracleDB-19.3 EE / SE2	リサイズ&リタイプ(2016)
		データ移行(2019/2022)
Windows server 2019 +OracleDB-19.3 EE / SE2	Windows Server 2019 +OracleDB-19.3 EE / SE2	リサイズ&リタイプ
Windows server 2022 +OracleDB-19.3 EE / SE2	Windows Server 2022 +OracleDB-19.3 EE / SE2	リサイズ&リタイプ

セル色の凡例：

お客様の作業不要

お客様がツールにて移行

お客様が環境を再構築し移行

# サービスごとの移行方法について

## ■仮想サーバー

### 構成パターン別の移行方針

OracleDBを含むオフィシャルイメージテンプレートをご利用いただいている場合の各移行元のOSと移行先のOSの一覧は以下の通りです。

- 移行元、移行先OSのメジャーバージョンが同じ、かつ新環境で提供されているOSの場合は、ツールにて移行。
- 提供終了/サポート終了しているOSに関しては、アップデートが必須。移行先バージョンが異なるので、データ移行にて移行。

移行元バージョン	移行先バージョン	移行方針
Red Hat Enterprise Linux 7 +OracleDB-19.3 EE / SE2	Red Hat Enterprise Linux 7/8 +OracleDB-19.3 EE / SE2	リサイズ&リタイプ(7) データ移行(8)
Red Hat Enterprise Linux 8 +OracleDB-19.3 EE / SE2	Red Hat Enterprise Linux 8 +OracleDB-19.3 EE / SE2	リサイズ&リタイプ
OracleLinux-7.1 +OracleDB-12.1 EE / SE2	Red Hat Enterprise Linux 8 +OracleDB-19.3 EE / SE2	データ移行

セル色の凡例：

お客様の作業不要

お客様がツールにて移行

お客様が環境を再構築し移行

# サービスごとの移行方法について

## ■仮想サーバー

### 構成パターン別の移行方針

RDS SALを含むオフィシャルイメージテンプレートをご利用いただいている場合の各移行元のOSと移行先のOSの一覧は以下の通りです。

- 移行元、移行先OSのメジャーバージョンが同じ、かつ新環境で提供されているOSの場合は、ツールにて移行。
- 提供終了/サポート終了しているOSに関しては、アップデートが必須。移行先バージョンが異なるので、データ移行にて移行。

移行元バージョン	移行先バージョン	移行方針
RDSSAL Windows server 2012R2	RDSSAL Windows Server 2019 / 2022 / 2025	データ移行
RDSSAL Windows server 2016	RDSSAL Windows Server 2016 / 2019 / 2022 / 2025	リサイズ&リタイプ(2016) データ移行(2019/2022/2025)
RDSSAL Windows server 2019	RDSSAL Windows Server 2019 / 2022 / 2025	リサイズ&リタイプ(2019) データ移行(2022/2025)
RDSSAL Windows server 2022	RDSSAL Windows Server 2022 / 2025	リサイズ&リタイプ(2022) データ移行(/2025)

セル色の凡例： 

お客様の作業不要
----------

お客様がツールにて移行
-------------

お客様が環境を再構築し移行
---------------

# サービスごとの移行方法について

## ■ベアメタルサーバー

### 各OSの移行方針

各移行元のOSと移行先のOSの一覧は以下の通りです。

- ・ 移行元、移行先OSのメジャーバージョンが同じ、かつ新環境で提供されているOSの場合は、ツールにて移行。
- ・ 提供終了/サポート終了しているOSに関しては、アップデートが必須。移行先バージョンが異なるので、データ移行にて移行。

※お客様自身で持ち込んだプライベートISOは、本移行手順の対象外となっております。お客様にて適切な移行方針で移行いただく必要がございます。

移行元OS	移行先OS	移行方針
Windows Server 2016	Windows Server 2022	データ移行
Windows Server 2019	Windows Server 2022	データ移行
Windows Server 2022	Windows Server 2022	バックアップ&リストア <a href="#">6. ベアメタルサーバーのバックアップ&amp;リストア概要および手順 Windows Server2022編 - ユースケース ユースケース   Smart Data Platform Knowledge Center</a>
Red Hat Enterprise Linux 7	Red Hat Enterprise Linux 8以降	データ移行
Red Hat Enterprise Linux 8	Red Hat Enterprise Linux 8	バックアップ&リストア <a href="#">2. ベアメタルサーバーのバックアップ&amp;リストア概要および手順 RHEL8.8編 - ユースケース ユースケース   Smart Data Platform Knowledge Center</a>
Red Hat Enterprise Linux 9	Red Hat Enterprise Linux 9	バックアップ&リストア <a href="#">2. ベアメタルサーバーのバックアップ&amp;リストア概要および手順 RHEL8.8編 - ユースケース ユースケース   Smart Data Platform Knowledge Center</a>
Ubuntu 16.04	Ubuntu 24.04	データ移行
Ubuntu 18.04	Ubuntu 24.04	データ移行
プライベートISO	プライベートISO	お客様自身にて適切な移行方針を策定

セル色の凡例：

お客様の作業不要

お客様がツールにて移行

お客様が環境を再構築し移行

# サービスごとの移行方法について

## ■ハイパーバイザー

各バージョンの移行方針

移行元と移行先のバージョンは以下の通りです。

移行元バージョンが6以前はエクスポート&インポート、移行元バージョンが7以降はオンライン移行で新環境へ移行可能です。

移行元バージョン	移行先バージョン	移行方針
vSphere ESXi 5.5	vSphere ESXi 8.0	パターンB：インベントリ登録解除および登録による仮想マシン移行 パターンC：OVFまたはOVAファイルのエクスポートおよびインポートによる移行 <a href="#">1.1.1. vSphere ESXi 8.0環境への移行手順 - ユースケース ユースケース   Smart Data Platform Knowledge Center</a>
vSphere ESXi 6.0	vSphere ESXi 8.0	
vSphere ESXi 6.5	vSphere ESXi 8.0	
vSphere ESXi 6.7	vSphere ESXi 8.0	
vSphere ESXi 7.0	vSphere ESXi 8.0	パターンA：vMotionによるバージョンアップ <a href="#">1.1.1. vSphere ESXi 8.0環境への移行手順 - ユースケース ユースケース   Smart Data Platform Knowledge Center</a>
vSphere ESXi 8.0	vSphere ESXi 8.0	

セル色の凡例： 

お客様の作業不要
----------

お客様がツールにて移行
-------------

お客様が環境を再構築し移行
---------------

# サービスごとの移行方法について

## ■ミドルウェア

- データ移行を実施する際にArcserve Unified Data Protection (以下、Arcserve UDP) を利用しない場合、移行元に展開したミドルウェア/ライセンスは新規にインストールする必要がございます。各サーバーの移行方針をご確認ください。

	物理サーバー / ベアメタルサーバー	ハイパーバイザー / vSphere	仮想サーバー / サーバーインスタンス		
Oracle	移行方針：データ移行 <ul style="list-style-type: none"> <li>仮想サーバーのページを参照、仮想サーバーをベアメタルサーバーに読み替えて実施</li> </ul>	ハイパーバイザーのページを参照 (追加作業不要：ハイパーバイザーの移行とともに移行)	移行方針：リサイズ&リタイプ <ul style="list-style-type: none"> <li>追加作業不要（仮想サーバー移行とともに移行）</li> </ul>		
	移行方針：バックアップ&リストア <ul style="list-style-type: none"> <li>追加作業不要（Arcserve UDPのバックアップ・リストアで移行）</li> </ul>		移行方針：データ移行 再インストールを実施		
SQL Server	提供無し		ハイパーバイザーのページを参照 (追加作業不要：ハイパーバイザーの移行とともに移行)	移行方針：リサイズ&リタイプ <ul style="list-style-type: none"> <li>追加作業不要（仮想サーバー移行とともに移行）</li> </ul>	
				移行方針：データ移行 再インストールを実施	
Arcserve Unified Data Protection	再インストールを実施 <a href="#">Arcserve UDP 8.x から 9.x へのアップグレード手順</a> <a href="#">Arcserve UDP 8.xおよび9.x からArcserve UDP 10.0 へのアップグレード手順</a> <a href="#">Arcserve UDP 9.xを用いたSmart Data Platform でのバックアップリストア運用例</a> <a href="#">Arcserve UDP 10.0を用いたSmart Data Platform でのバックアップリストア運用例</a>			移行方針：リサイズ&リタイプ <ul style="list-style-type: none"> <li>追加作業不要（仮想サーバー移行とともに移行）</li> </ul>	移行方針：データ移行 再インストールを実施 <a href="#">Arcserve UDP 8.x から 9.x へのアップグレード手順</a> <a href="#">Arcserve UDP 8.xおよび9.x からArcserve UDP 10.0 へのアップグレード手順</a> <a href="#">Arcserve UDP 9.xを用いたSmart Data Platform でのバックアップリストア運用例</a> <a href="#">Arcserve UDP 10.0を用いたSmart Data Platform でのバックアップリストア運用例</a>
					移行方針：データ移行 再インストールを実施

セル色の凡例：

お客様の作業不要
お客様がツールにて移行
お客様が環境を再構築し移行

# サービスごとの移行方法について

## ■ミドルウェア

- データ移行を実施する際にArcserve Unified Data Protection (以下、Arcserve UDP) を利用しない場合、移行元に展開したミドルウェア/ライセンスは新規にインストールする必要がある場合がございます。各サーバーの移行方針をご確認ください。

	物理サーバー / ベアメタルサーバー	ハイパーバイザー / vSphere	仮想サーバー / サーバーインスタンス
HULFT	移行方針：データ移行 ・ 再インストールを実施	ハイパーバイザーのページを参照 (追加作業不要：ハイパーバイザーの移行とともに移行)	移行方針：リサイズ&リタイプ ・ 追加作業不要（仮想サーバー移行とともに移行）
	移行方針：バックアップ&リストア ・ 追加作業不要（Arcserve UDPのバックアップ・リストアで移行）		移行方針：データ移行 ・ 追加作業不要（Arcserve UDPのバックアップ・リストアで移行）
Windows Server Remote Desktop Services SAL	提供無し	提供無し	移行方針：リサイズ&リタイプ ・ 追加作業不要（仮想サーバー移行とともに移行）  移行方針：データ移行 再インストールを実施

セル色の凡例：

お客様の作業不要

お客様がツールにて移行

お客様が環境を再構築し移行

# サービスごとの移行方法について

## ■バックアップ

データ移行を実施する際にArcserve UDPを利用しない場合、移行元に展開したアプリケーションは新規にインストールする必要がある場合がございます。各サーバーの移行方針をご確認ください

	物理サーバー / ベアメタルサーバー	ハイパーバイザー / vSphere	仮想サーバー / サーバーインスタンス
Arcserve Cloud Direct	移行方針：データ移行 ・再インストールを実施 <a href="#">9. Arcserve Cloud Direct環境構築手順書 - ユースケース ユースケース   Smart Data Platform Knowledge Center</a>	ハイパーバイザーのページを参照 （追加作業不要：ハイパーバイザーの移行とともに移行）	移行方針：リサイズ&リタイプ ・追加作業不要 （仮想サーバー移行とともに移行）
	移行方針：バックアップ&リストア ・追加作業不要（Arcserve UDPのバックアップ・リストアで移行）		移行方針：データ移行 ・追加作業不要（Arcserve UDPのバックアップ&リストアで移行）

セル色の凡例：

お客様の作業不要

お客様がツールにて移行

お客様が環境を再構築し移行

# サービスごとの移行方法について

## ■ストレージ

メニュー	移行方針
ブロックストレージ	再構築・複製
ファイルストレージ	再構築・複製
Wasabiオブジェクトストレージ	移行不要

## ■セキュリティ

	物理サーバー / ベアメタルサーバー	ハイパーバイザー / vSphere	仮想サーバー / サーバーインスタンス
Managed Anti-Virus	ベアメタルサーバーの移行に併せてアンインストール→インストールにて移行	ハイパーバイザーの移行に併せてアンインストール→インストールにて移行	移行方針：リサイズ&リタイプ ・追加作業不要（仮想サーバー移行とともに移行）
			移行方針：データ移行 アンインストール→インストールにて移行
Managed Virtual Patch	ベアメタルサーバーの移行に併せてアンインストール→インストールにて移行	ハイパーバイザーの移行に併せてアンインストール→インストールにて移行	移行方針：リサイズ&リタイプ ・追加作業不要（仮想サーバー移行とともに移行）
			移行方針：データ移行 アンインストール→インストールにて移行
Managed Host-based Security Package	ベアメタルサーバーの移行に併せてアンインストール→インストールにて移行	ハイパーバイザーの移行に併せてアンインストール→インストールにて移行	移行方針：リサイズ&リタイプ ・追加作業不要（仮想サーバー移行とともに移行）
			移行方針：データ移行 アンインストール→インストールにて移行

セル色の凡例：

お客様の作業不要

お客様がツールにて移行

お客様が環境を再構築し移行

# サービスごとの移行方法について

## ■パートナークラウド

メニュー	移行方針
Power Systems	Power SystemsのIBMi/AIXメニューの移行作業およびコロケーション接続はお客様作業不要 (ただしコロケーション接続移行時に断が発生)。 LANコンソール用のサーバーインスタンスはお客様での移行が必要。
Hybrid Cloud with Microsoft Azure	移行不要
Hybrid Cloud with GCP	移行不要
Hybrid Cloud with AWS	移行不要

## ■プラットフォームサービス

メニュー	移行方針
Enterprise Cloud for ERP	移行不要
IaaS Powered by Vmware	移行不要

# サービスごとの移行方法について

つながり。驚きを。幸せを。

 NTT docomo Business

セル色の凡例：

お客様の作業不要
お客様がツールにて移行
お客様が環境を再構築し移行

## ■相互接続/関連サービス

メニュー	移行方針
インターネット接続ゲートウェイ	弊社作業にて移行
Flexible InterConnect接続ゲートウェイ	弊社作業にて移行
FICエントリーパック	FIC接続への再構築 <a href="#">FIC Entry Pack接続からFIC接続への移行手順 - クラウド/サーバー Flexible InterConnect接続ゲートウェイ チュートリアル   Smart Data Platform Knowledge Center</a>
コロケーション接続	お客様コロケーションラック内で旧環境から新環境へのケーブルの差し替え
リージョン間接続	弊社作業にて移行
テナント間接続	仮想サーバー/ファイアウォールを同一のOSへツールにて移行する場合は不要 仮想サーバー/ファイアウォールを異なるOSへ移行する場合、移行後にお客様にて新規にテナント間接続の作成が必要 ベアメタルサーバー利用の場合は、新規でテナント間接続の作成が必要
docomo MEC接続ゲートウェイ	JP5提供無し
DNS	弊社作業にて移行

# サービスごとの移行方法について

## ■クラウド/サーバー ローカルネットワーク

セル色の凡例：

お客様の作業不要

お客様がツールにて移行

お客様が環境を再構築し移行

メニュー	移行方針
ロジカルネットワーク	弊社作業にて移行
共通機能ゲートウェイ	弊社作業にて移行
ロードバランサー	12.0-53.13を利用の場合は、 新基盤にて最新バージョンの再構築により移行 <a href="#">異なるバージョン間の切替について - ロードバランサー チュートリアル   Smart Data Platform Knowledge Center</a>
	プラン変更を実施
Managed Load Balancer	弊社作業にて移行

## ■クラウド/サーバー ネットワークセキュリティ

メニュー	移行方針
ファイアウォール	15.1X49-D105.1 および 19.2R1.8を利用の場合は、 新基盤にて最新バージョンの再構築により移行 <a href="#">異なるバージョン間の切替 - ファイアウォール チュートリアル   Smart Data Platform Knowledge Center</a>
	再配置を実施
Managed Firewall	プラン変更を実施
Managed UTM	プラン変更を実施
Managed WAF	プラン変更を実施

セル色の凡例：

お客様の作業不要

お客様がツールにて移行

お客様が環境を再構築し移行

# サービスごとの移行方法について

## ■参考：新基盤（JP5）で提供されないメニュー

- ・以下は、設備更改に伴い、新基盤では提供しないサービスの一覧および理由・想定移行方法です。
- ・サポート終了済みのメニューのに関しては、アップデートをお願いいたします。

メニュー	メニュー詳細		該当バージョン	製品のEOL※ <sup>1</sup>	廃止理由	移行方針
サーバーインスタンス	Compute Volume		— (V1)	—	パフォーマンスの良い後継メニュー提供の為	リサイズ&リタイプ
ファイルストレージ	Standard		— (V1)	—		再構築・複製
ブロックストレージ	Storage Snapshot		— (V1)	—		
相互接続/関連サービス	Flexible Inter Connect 接続ゲートウェイ	エントリーパック	—	—		設備更改完了時期までにサービス終了予定(2027/3/1)のため
サーバーインスタンス	OS	Windows Server	Windows Server 2012 R2以前	2023/10/10	該当の製品がEOLを迎えており、新基盤で動作しない為	最新版、もしくは、Windows Server 2019以降へデータ移行
ミドルウェア/ライセンス	Windows Server Remote Desktop Services SAL		Windows Server 2012			最新版、もしくは、SQL Server 2019以降へデータ移行
	SQL Server		SQL Server 2014	2024/7/9		RHELの最新版へデータ移行
	Oracle For Virtual Server Menu	Oracle EE for Linux	—	2024/6/30		
		Oracle SE2 for Linux	—	2024/6/30		
	Oracle EE for Windows	Windows Server 2012	2023/10/10	最新版、もしくは、Windows Server 2016以降へデータ移行		
	Oracle SE2 for Windows	Windows Server 2012	2023/10/10			

※<sup>1</sup>：製品のEOLとは、提供元の該当製品のEOLを指し、提供およびサポートが出来なくなる日付を指します

セル色の凡例： 

お客様の作業不要
----------

お客様がツールにて移行
-------------

お客様が環境を再構築し移行
---------------

# サービスごとの移行方法について

## ■参考：新基盤（JP5）で提供されないメニュー

- ・以下は、設備更改に伴い、新基盤では提供しないサービスの一覧および理由・想定移行方法です。
- ・サポート終了済みのメニューのに関しては、アップデートをお願いいたします。

メニュー	メニュー詳細		該当バージョン	製品のEOL※ <sup>1</sup>	廃止理由	移行方針
ベアメタルサーバー	Server	General Purpose 1-3	v2	2023/3/1	該当の製品の新規販売が終了している為	General Purpose 1-3 v5へデータ移行
			v3	未定		
			v4	未定		
	OS	Windows Server	Windows Server 2012 R2以前	2023/10/10	該当の製品がEOLを迎えており、新基盤で動作しない為	最新版、もしくは、Windows Server 2022以降へデータ移行
			Windows Server 2016	2027/1/12	設備更改完了時期までに該当の製品がEOLとなる為	
			Windows Server 2019	2029/1/9	新基盤で動作しないため	
		Red Hat Enterprise Linux	Red Hat Enterprise Linux 7 + Extended Life-cycle Support	2028/6/30	該当の製品がEOLを迎えており、新基盤で動作しない為	最新版、もしくは、RHEL8以降へデータ移行
		Ubuntu	Ubuntu 16.x	2021/4/30		Ubuntu 24.x以降へデータ移行、テンプレート提供なし（持ち込み）
			Ubuntu 18.x	2023/5/31		
		CentOS	全てのバージョン	2024/6/30		他のOSで再構築

※<sup>1</sup>：製品のEOLとは、提供元の該当製品のEOLを指し、提供およびサポートが出来なくなる日付を指します

セル色の凡例： 

お客様の作業不要
----------

お客様がツールにて移行
-------------

お客様が環境を再構築し移行
---------------

# サービスごとの移行方法について

## ■参考：新基盤（JP5）で提供されないメニュー

- ・以下は、設備更改に伴い、新基盤では提供しないサービスの一覧および理由・想定の移行方法です。
- ・サポート終了済みのメニューのに関しては、アップデートをお願いいたします。

メニュー	メニュー詳細	該当バージョン	製品のEOL※ <sup>1</sup>	廃止理由	移行方針
ハイパーバイザー	vSphere	vSphere ESXi 6.x	2023/11/15	設備更改開始時期までに該当の製品がEOLを迎える為	最新版、もしくは、ESXi 8.x以降へデータ移行
		vSphere ESXi 7.x	2025/10/2		
ミドルウェア/ライセンス	Arcserve Unified Data Protection	Arcserve Unified Data Protection (UDP) ~8.0 Advanced Edition	2025/10/31	設備更改開始時期までに該当の製品がEOLを迎え、該当バージョンがサービス終了予定(2026/10/31)の為	最新版、もしくは、Arcserve 9以降へデータ移行
ネットワークセキュリティ	ファイアウォール	vSRX 15.1X49-D105.1	2021/6/30	該当の製品がEOLを迎えており、新基盤で動作しない為	新基盤にて最新バージョンの再構築により移行
		vSRX 19.2R1.8	2022/12/26		
ローカルネットワーク	ロードバランサー	NetScaler VPX 12.0	2020/10/30	該当の製品がEOLを迎えており、新基盤で動作しない為	新基盤にて最新バージョンの再構築により移行

※<sup>1</sup>：製品のEOLとは、提供元の該当製品のEOLを指し、提供およびサポートが出来なくなる日付を指します

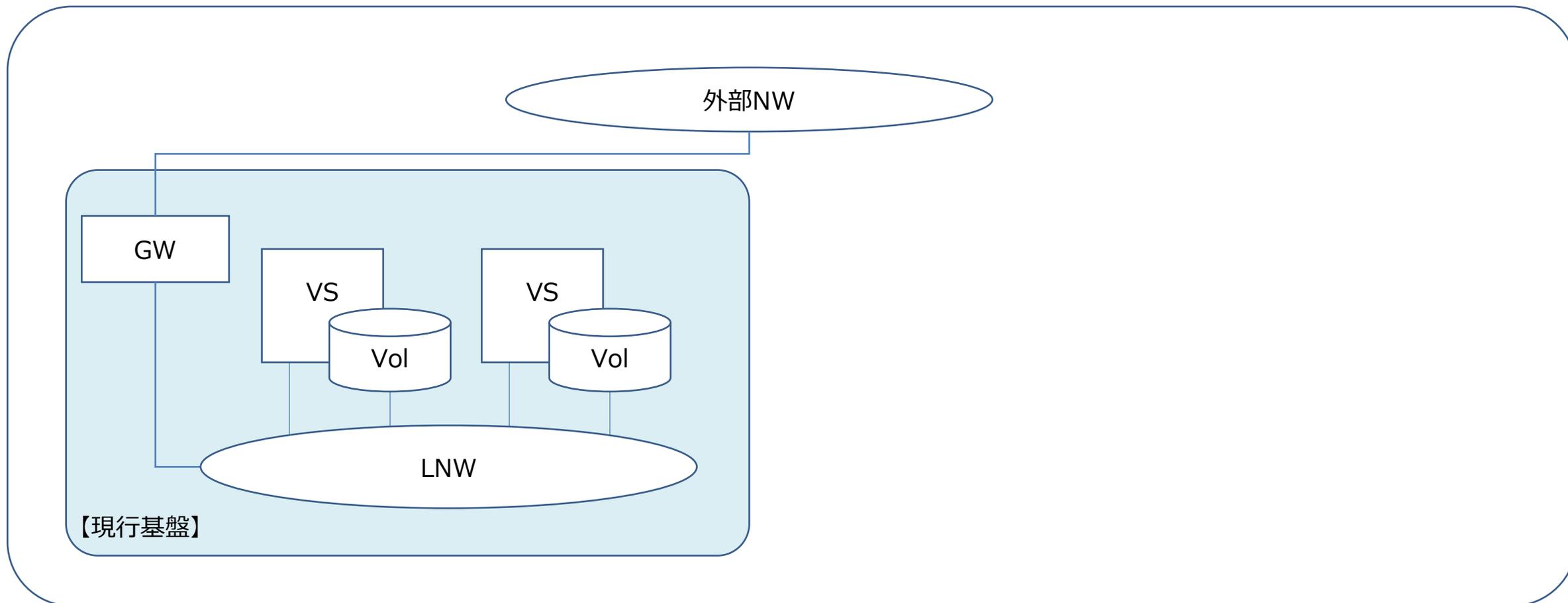
# パターン別移行ステップ

- 移行したい環境・サービスに応じて、以下の3パターンがございます。
  - \* お客様にツールを用いて移行作業をしていただく必要があるパターン
  - \* お客様に再構築していただく必要があるパターン
  - \* お客様にツールを用いて移行、およびお客様に再構築していただく必要があるパターン
- それぞれのパターンに応じた概略的な構成イメージを以降のスライドにて紹介いたします。
- 詳細については、各詳細手順をご参照ください。

# パターン別移行ステップ

## ■ ツールを利用して移行するパターン

- ・ 移行前の構成イメージです。

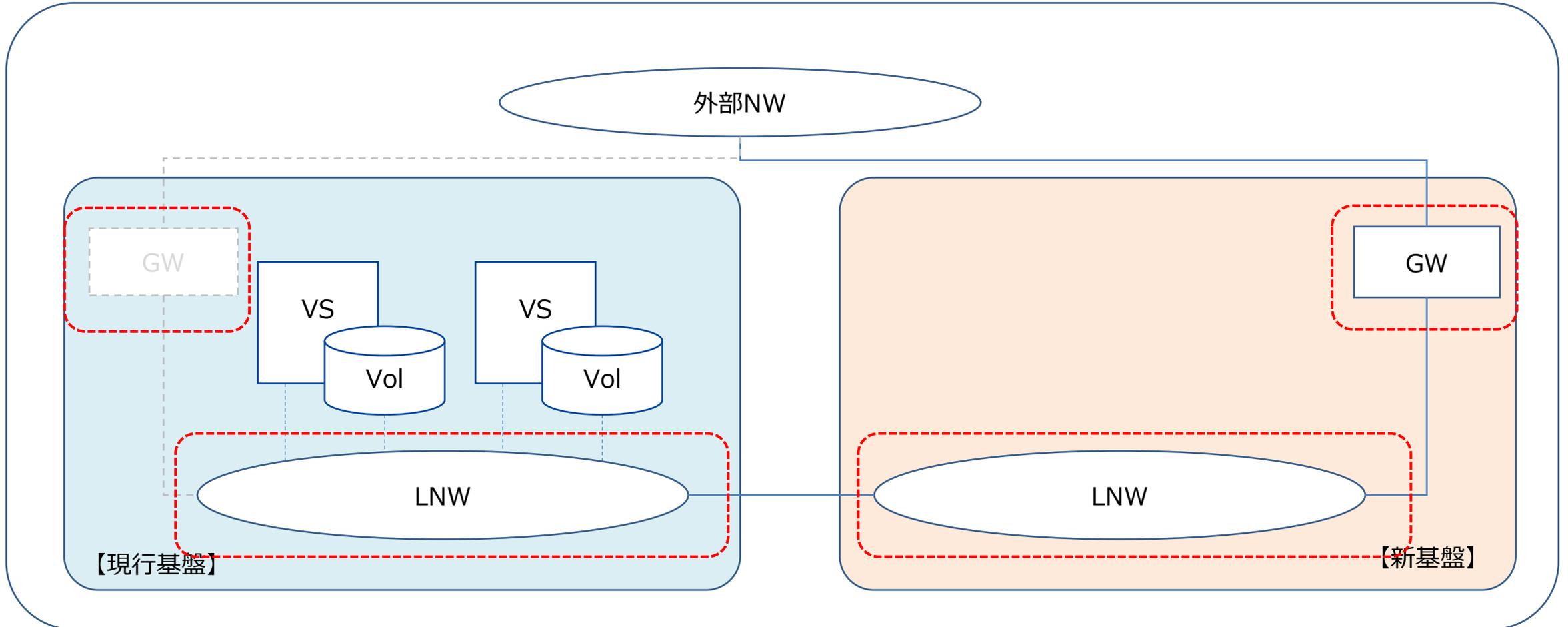


【凡例】GW : Gateway VS : 仮想サーバー Vol : ボリューム LNW : ロジカルネットワーク

# パターン別移行ステップ

## ■ツールを利用して移行するパターン

- 新基盤提供開始後、ロジカルネットワークの新基盤への延伸、ゲートウェイメニューの移行を弊社にて順次実施します。  
(定期メンテナンスとして実施)

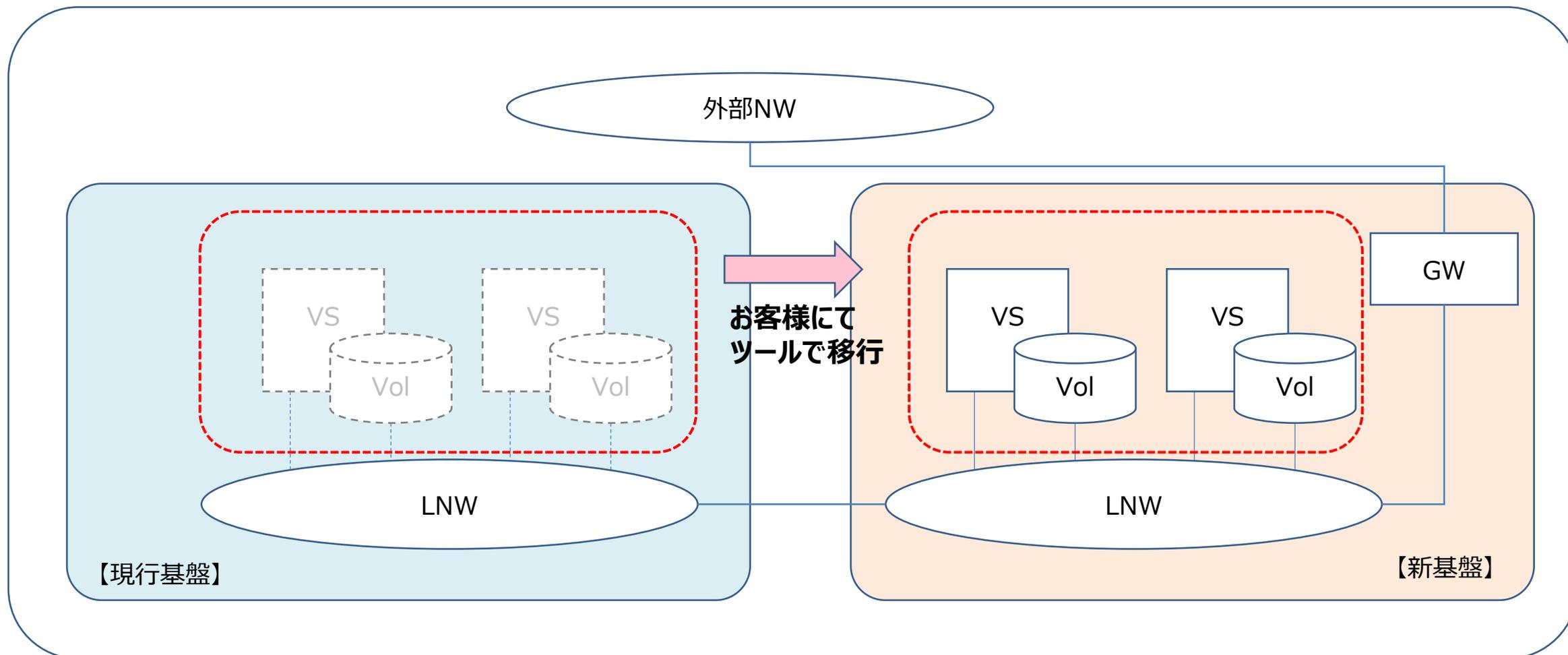


※本ページと次ページの順序については、お客様の移行作業のタイミングに依るため必ずステップイメージ通り進むわけではございません

# パターン別移行ステップ

## ■ツールを利用して移行するパターン

- お客様にて、SDPFポータルから移行ツールを用い、各リソースの移行作業を実施します。

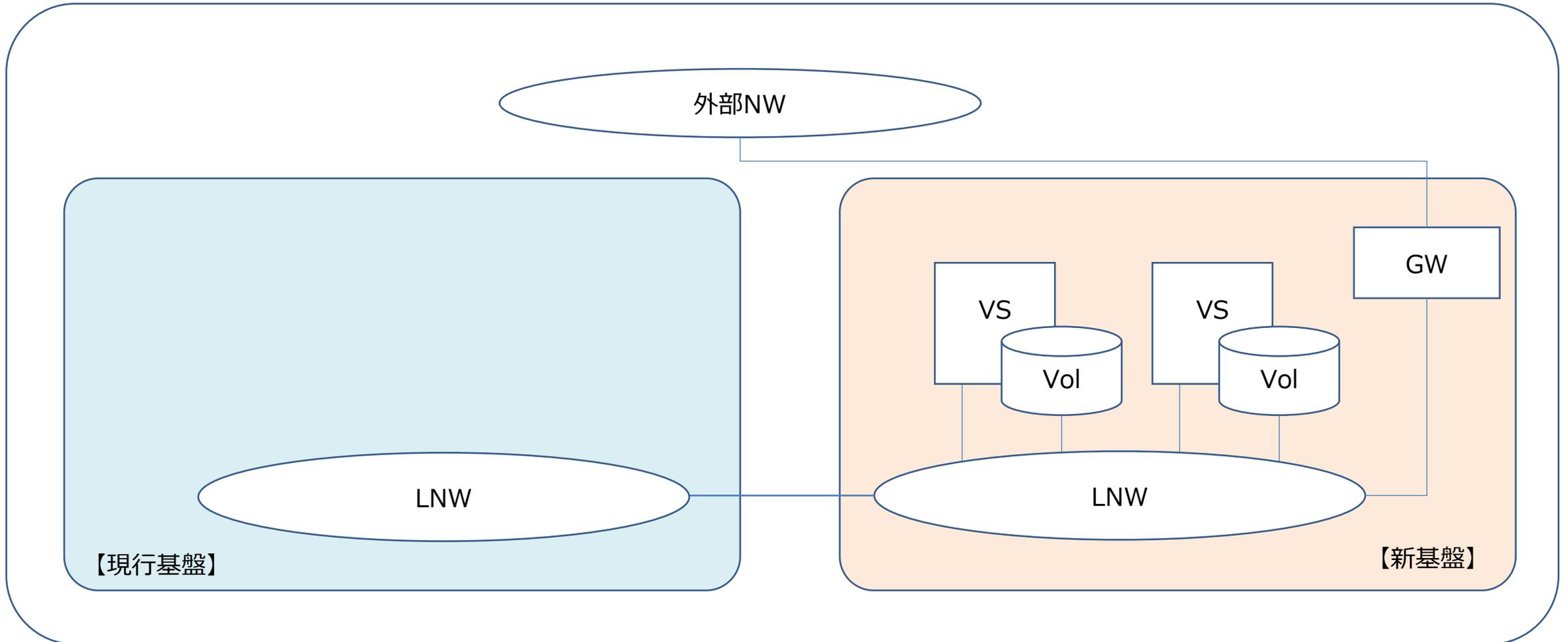


※前ページと本ページの順序については、お客様の移行作業のタイミングに依るため必ずステップイメージ通り進むわけではございません

# パターン別移行ステップ

## ■ ツールを利用して移行するパターン

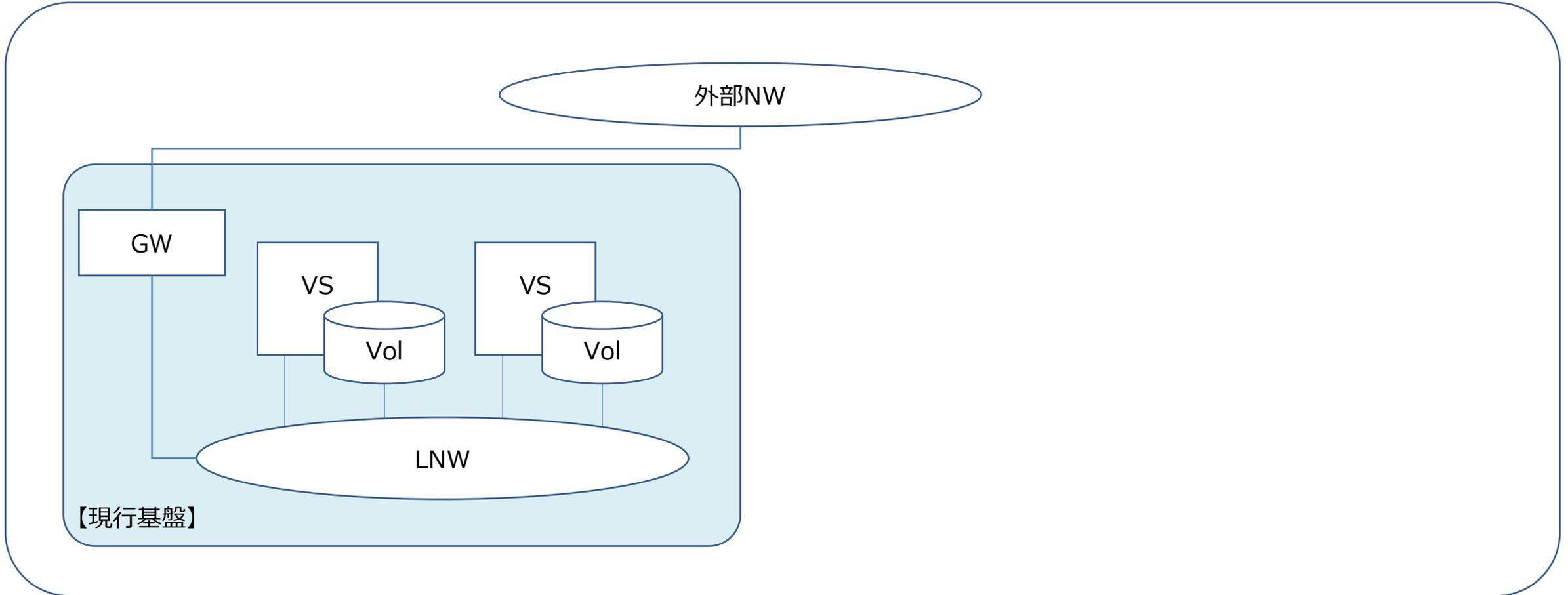
- ・ 移行完了後の構成イメージです。



# パターン別移行ステップ

## ■お客様による手動移行のパターン

- ・ 移行前の構成イメージです。

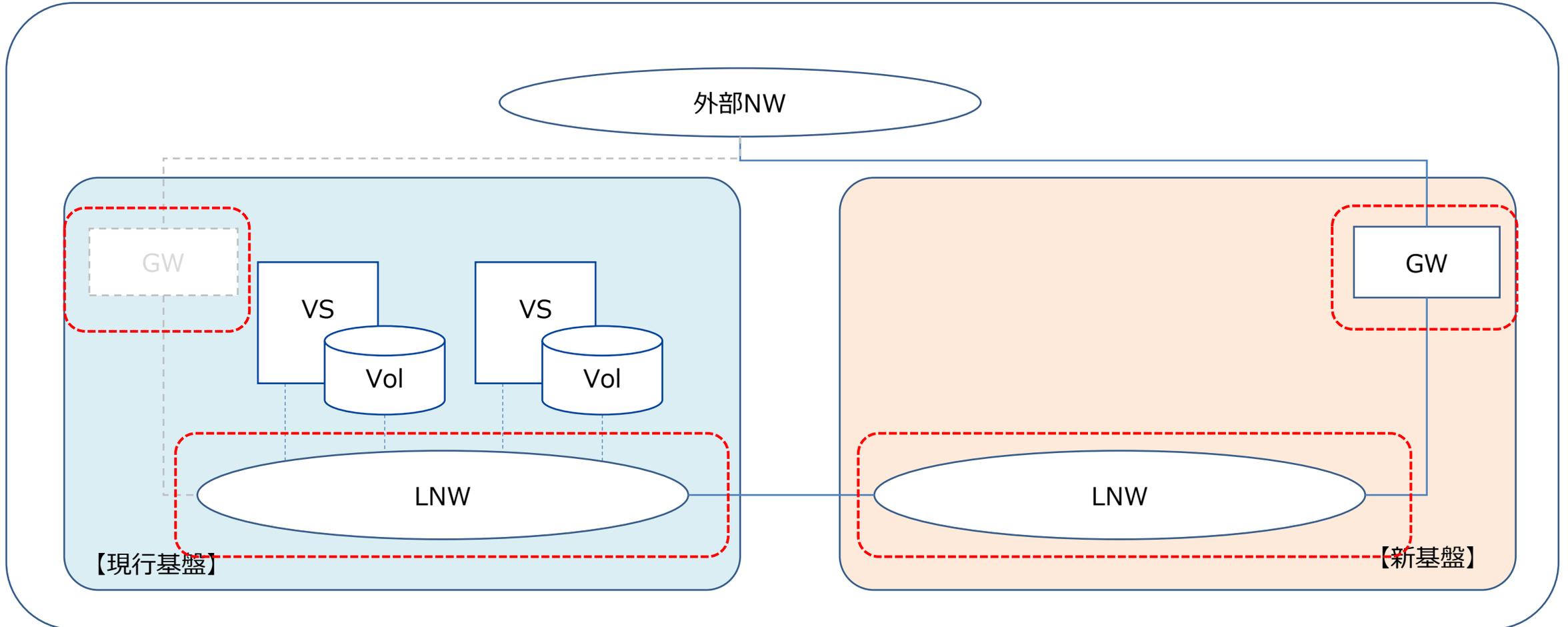


【凡例】GW : Gateway VS : 仮想サーバー Vol : ボリューム LNW : ロジカルネットワーク

# パターン別移行ステップ

## ■お客様による手動移行のパターン

- 新基盤提供開始後、ロジカルネットワークの新基盤への延伸、ゲートウェイメニューの移行を弊社にて順次実施します。  
(定期メンテナンスとして実施)

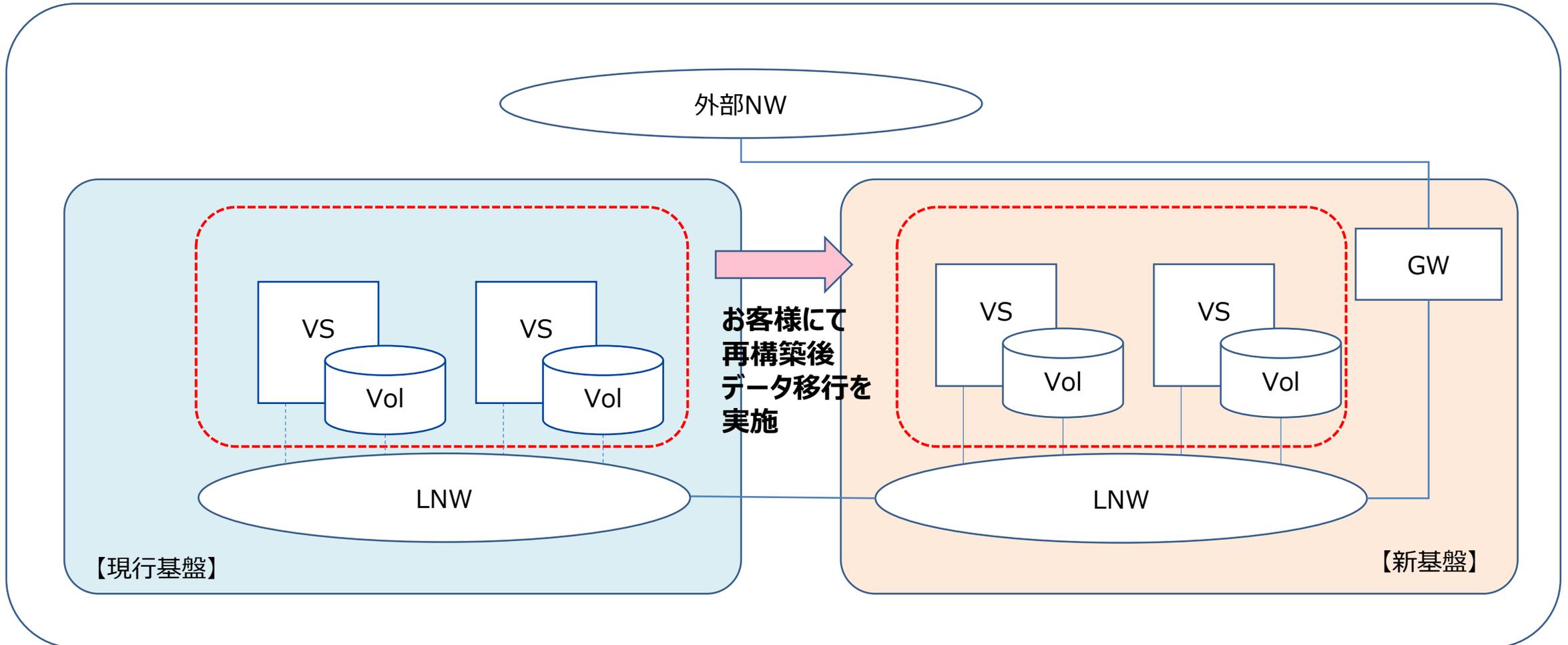


※本ページと次ページの順序については、お客さまの移行作業のタイミングに依るため必ずステップイメージ通り進むわけではございません

# パターン別移行ステップ

## ■お客様による手動移行のパターン

- お客様にて各リソースの再構築、データ移行を実施します。

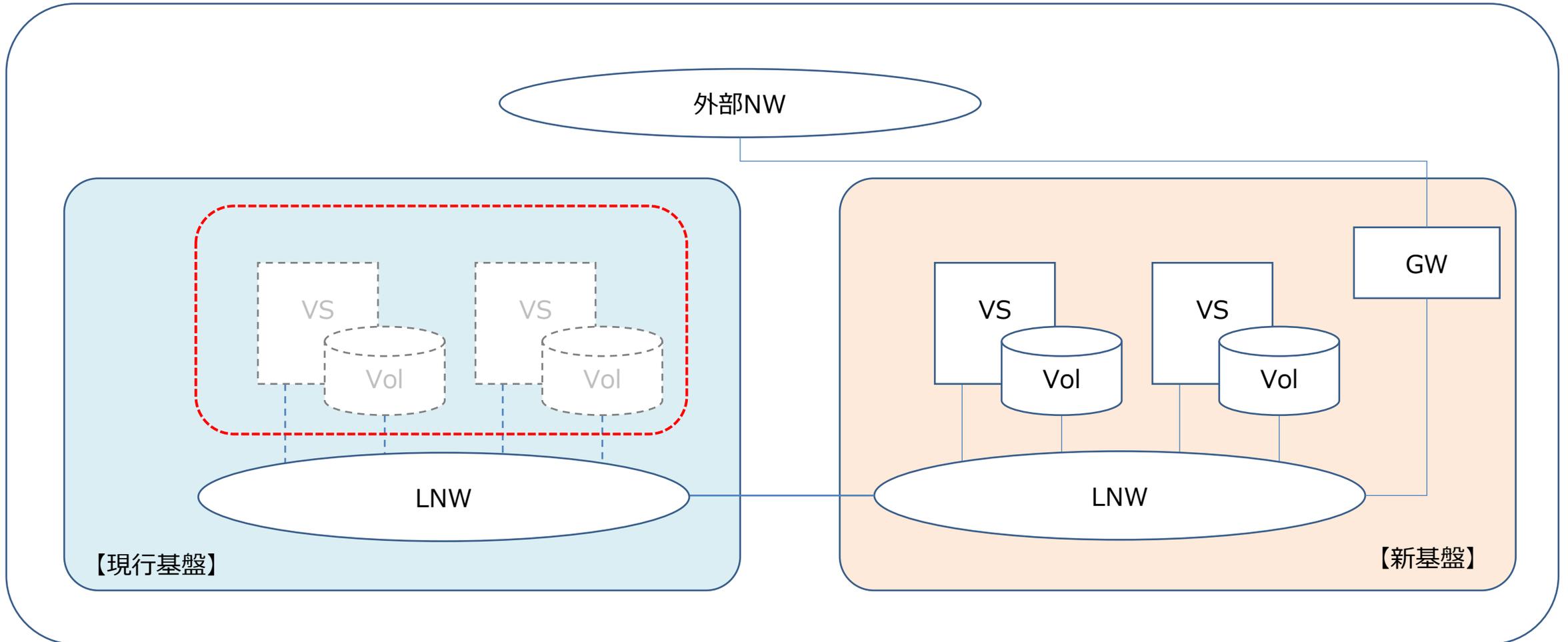


※前ページと本ページの順序については、お客様の移行作業のタイミングに依るため必ずステップイメージ通り進むわけではございません

# パターン別移行ステップ

## ■お客様による手動移行のパターン

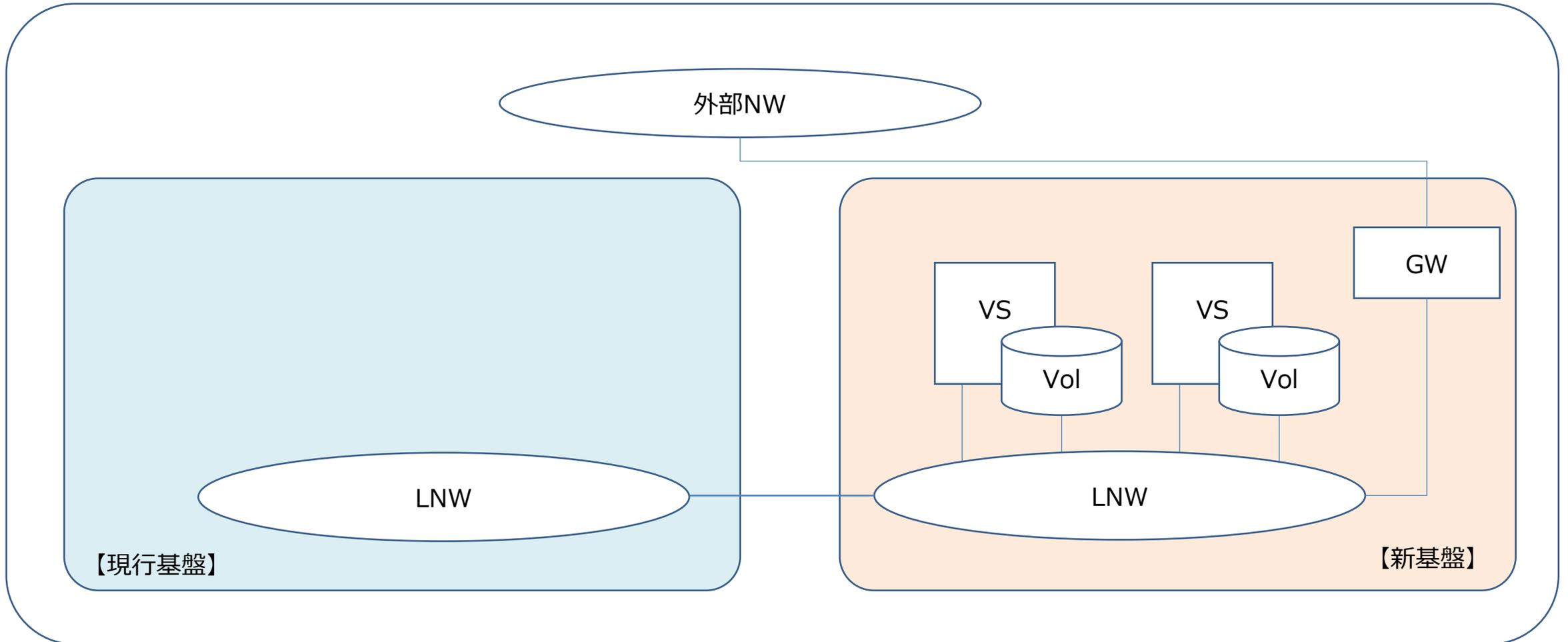
- 移行完了後に現行基盤上のリソースを削除します。



# パターン別移行ステップ

## ■お客様による手動移行のパターン

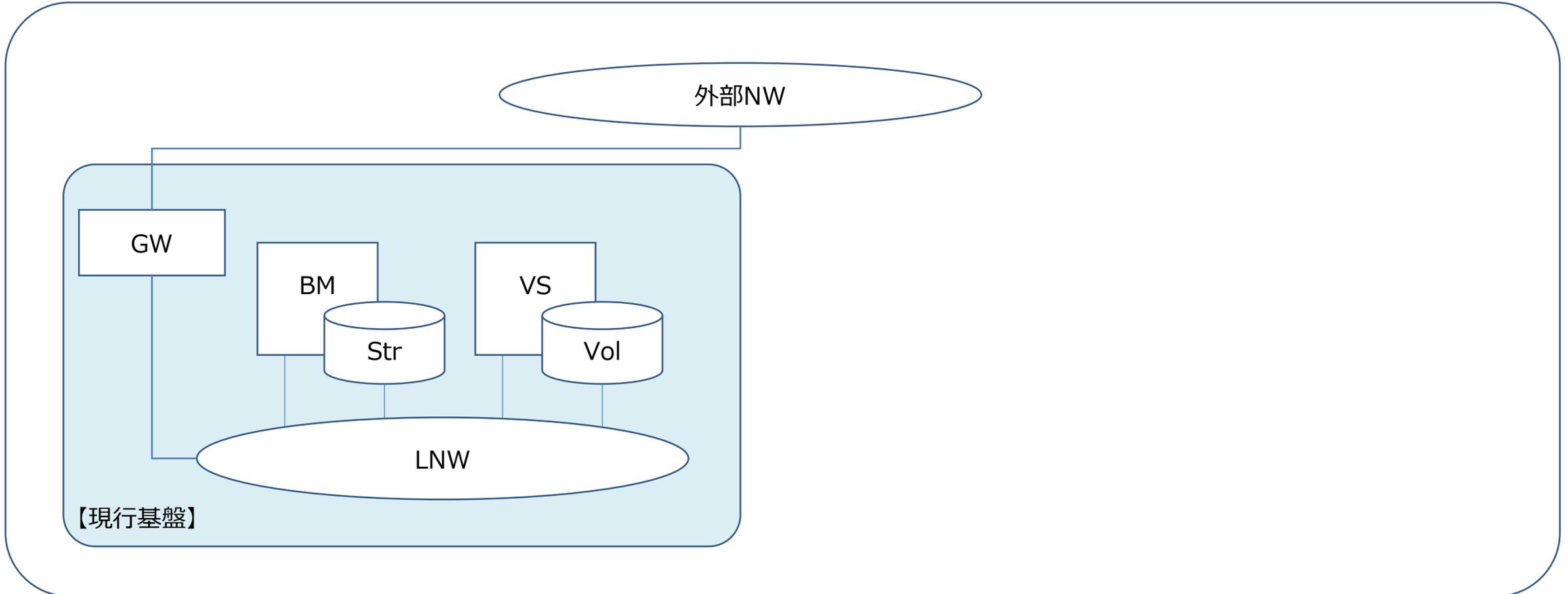
- ・ 移行完了後の構成イメージです。



# パターン別移行ステップ

## ■ ツールおよび手動移行併用のパターン

- ・ 移行前の構成イメージです。

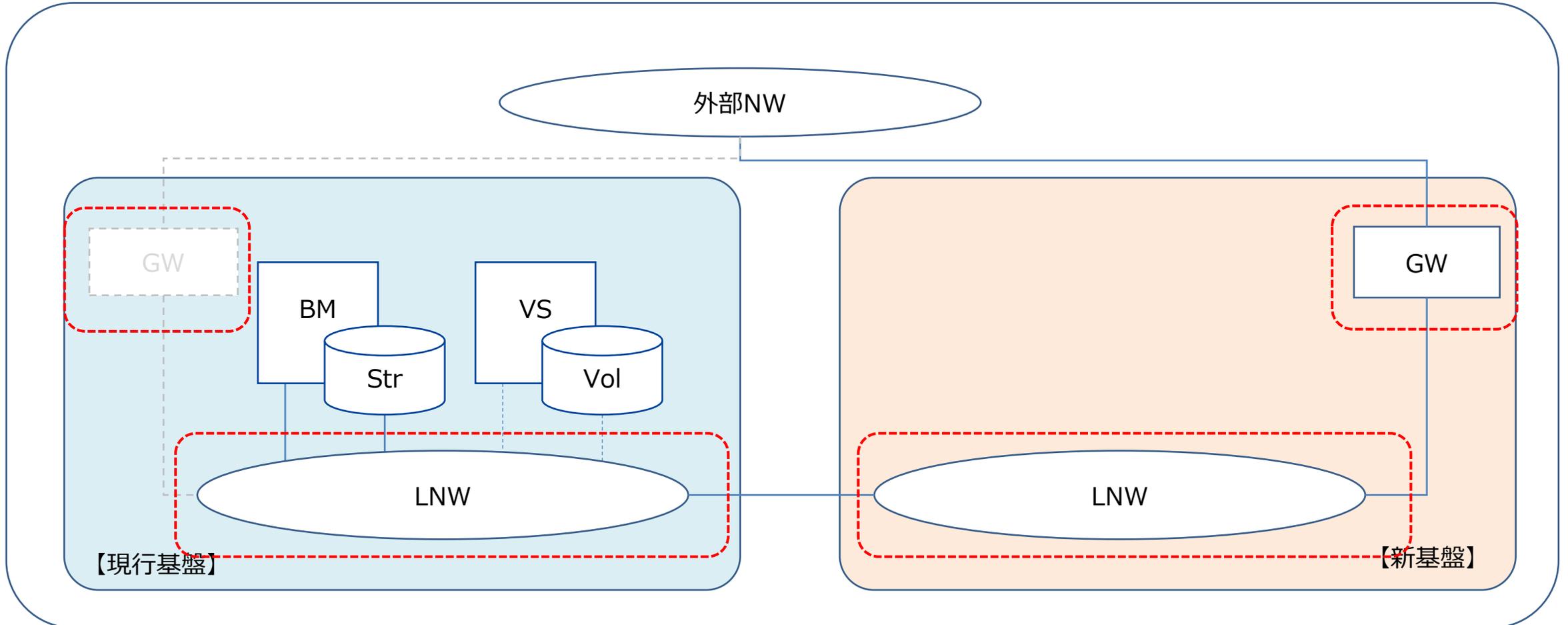


【凡例】GW : Gateway VS : 仮想サーバー Vol : ボリューム Str : ストレージ LNW : ロジカルネットワーク BM : ベアメタルサーバー

# パターン別移行ステップ

## ■ ツールおよび手動移行併用のパターン

- 新基盤提供開始後、ロジカルネットワークの新基盤への延伸、ゲートウェイメニューの移行を弊社にて順次実施します。  
(定期メンテナンスとして実施)

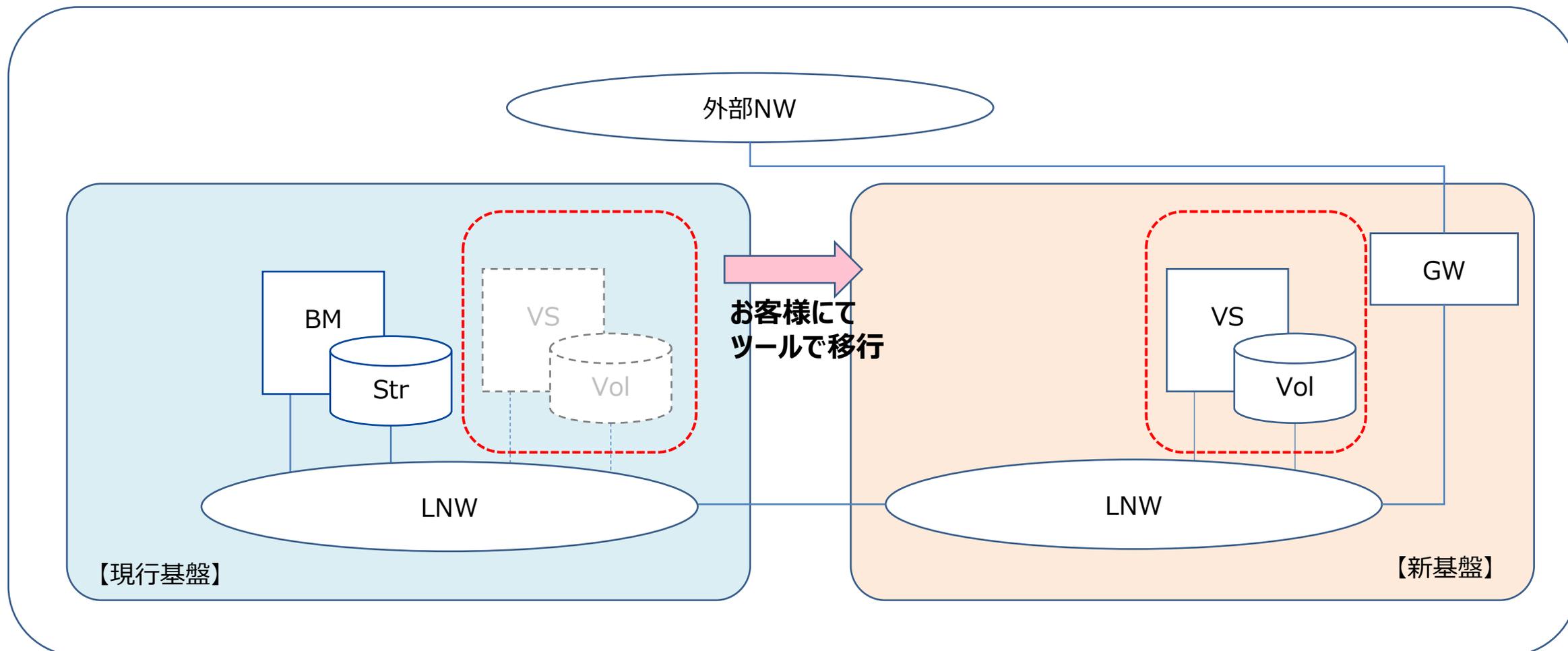


※本ページと次ページの順序については、お客様の移行作業のタイミングに依るため必ずステップイメージ通り進むわけではございません

# パターン別移行ステップ

## ■ツールおよび手動移行併用のパターン

- お客様にて、SDPFポータルから移行ツールを用い、各リソースの移行作業を実施します。

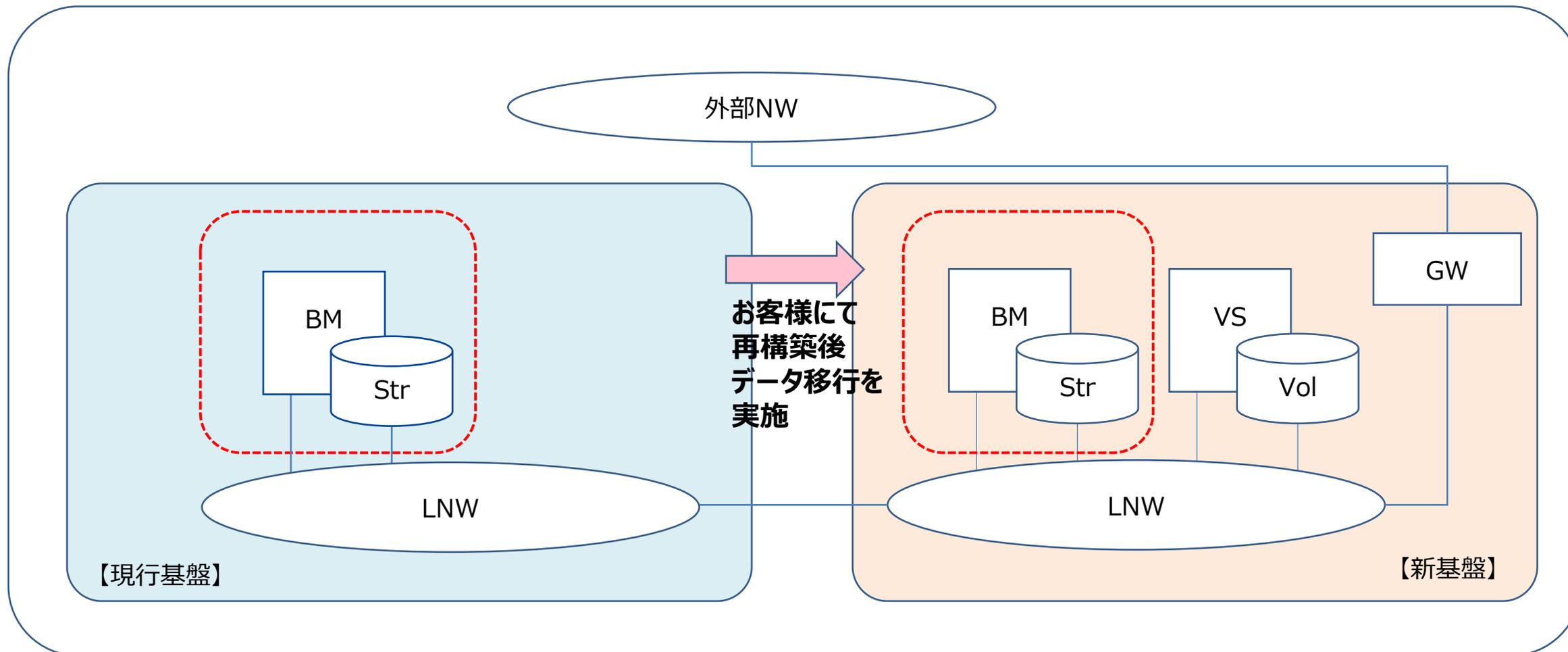


※前ページと本ページの順序については、お客様の移行作業のタイミングに依るため必ずステップイメージ通り進むわけではございません

# パターン別移行ステップ

## ■ ツールおよび手動移行併用のパターン

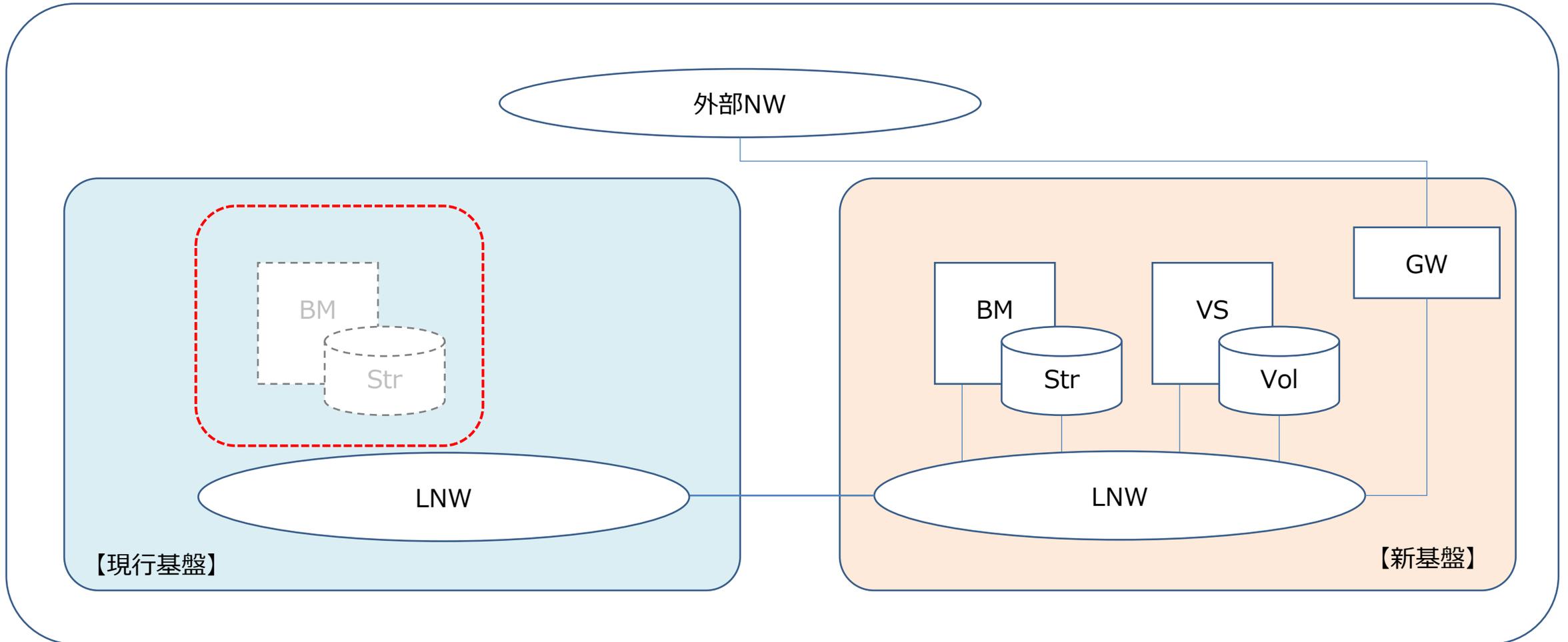
- お客様にて各リソースの再構築、データ移行を実施します。



# パターン別移行ステップ

## ■ ツールおよび手動移行併用のパターン

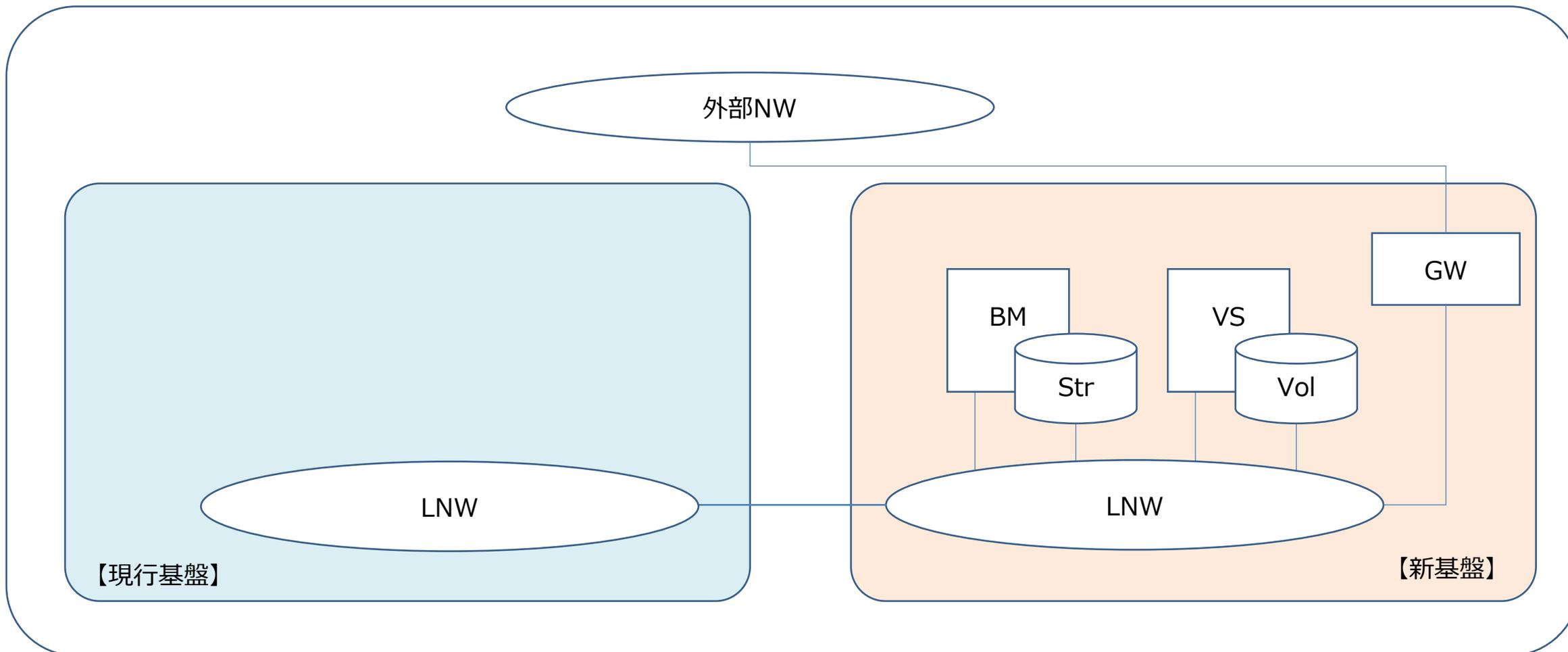
- ・ 移行完了後に現行基盤上のリソースを削除します。



# パターン別移行ステップ

## ■ ツールおよび手動移行併用のパターン

- ・ 移行完了後の構成イメージです。



つなごう。驚きを。幸せを。

 <sup>NTT</sup> docomo **Business**